

令和3年度 試験研究課題(主要)一覧

※主要研究課題は農林水産施策を支える先導的・先端的な研究とする。

課題 No	重点化の方向※1	分野	主担当部署※2	その他担当部署※2	試験研究課題名	研究期間	R3形態※3
1	③	農業	農産(果)		イチジクのオーバーラップ整枝における栽培管理技術の確立	H31-R3	自主
2	②	農業	農産(主)		「山田錦」のブランド力を強化する品質向上栽培技術の確立	H31-R3	自主
3	④	農業	農産(主)		水稻におけるヒ素・カドミウム吸収抑制と収量品質確保のための栽培管理技術の確立	R3-5	自主
4	③ ④	農業	農産(野)	病虫害	磁歪振動技術を応用したイチゴの受粉および害虫防除技術の検討	R2-4 (R1-R2途中 まで一般)	共同
5	④	農業	病虫害		タマネギべと病の一次伝染源を中心とした防除体系の確立	R2-4	自主
6	①	農業	淡農		ドローンやセンシング技術を活用したレタスの栽培管理効率化・安定生産技術の開発	H31-R4 (H30一般)	共同
7	②	畜産	家畜		但馬牛の脂質(脂肪酸組成)に影響する要因解析と脂質改善技術の開発	H31~R5	自主
8	③	畜産	北畜		内分泌および第一胃機能に基づいた但馬牛育成期飼料給与体系の確立	R3-7	自主
9	④	森林	森活		樹木根系の動態把握による森林被害軽減手法の確立	H30-R5	共同
10	④	水産	水増		播磨灘北西部沿岸域の二枚貝類養殖漁場の漁場形成機構に関する研究	H30-R4	共同

※1. 重点化の方向については、「県立農林水産技術総合センター第5期中期業務計画(令和3~7年度)」の「IV今後の方向・取組」の中で、次の2つの方向にそって取り組むとしている。

- ①ひょうごの農林水産業の未来につながるスマート技術の開発
- ②ブランド力の強化につながる新価値の創出と品質向上技術の開発
- ③経営の強化につながる生産性向上技術の開発
- ④生産の持続性確保等につながる環境適用技術の開発

※2. 各部署名

農産(果): 農業技術センター 農産園芸部 果樹・花き担当
 農産(主): " " 主作・経営担当
 農産(野): " " 野菜担当
 病虫害: " " 病虫害部
 北農: 北部農業技術センター 農業・加工流通部
 淡農: 淡路農業技術センター 農業部

家畜: 畜産技術センター 家畜部
 淡畜: 淡路農業技術センター 畜産部

森活: 森林林業技術センター 森林活用部
 水増: 水産技術センター 水産増殖部

※3. 自主研究は「自主」、共同研究は「共同」と記載。なお、共同研究とは、共同研究契約締結により実施する研究を指す。